



第 15 号 編集発行 弘前学院大学 広報委員会 印刷所 (有)小野印刷所

平成十四年度特筆事項と今後の経営指針



学校法人弘前学院 理事長・学院長 阿保 邦弘

平成十四年度特筆事項 平成十五年三月十九日、文学部・社会福祉学部合同卒業式が挙行された。文学部第二十九回、社会福祉学部第一回卒業式である。平成十一年四月社会福祉学部開設から四年を経過し、記念すべき節目にあたり草創にかかわった学外協力者・教職員、学生に心から感謝するものである。当日午後六時から卒業記念パーティが両学部合同でホテルニューキャッスルを会場に開催され、大部分の教職員、卒業生が参加し四年間の思い出と将来の夢を語り盛会のうちに終了した。卒業式、記念パーティとも熱気にあふれ、弘前学院大学の明るい未来を感じさせた。

文学部は平成十四年度新しい試みに挑戦した。学部の教育の活性化と学生の英語会話実践力向上のための事業計画を策定した。事業内容は、第一に「夏季集中英語講座」で、夏季休暇中に英会話のクラスを設け、英会話実践力の特別講習を集中的に行うものである。第二は、「英語クリニック」で、弘前大学等の留学生のつち英語圏から留学している学生と本学学生との英語のみによる

交流会を行うというものである。弘前大学から五名の英語ネイティブ学生が参加し、本学学生はそれぞれ二十名に及び好評であった。英語、英文学科、日本語、日本文学科ともこのような企画を通常の教育活動以外に実施して学部の活性化を図る姿勢を高く評価したい。今後も継続し、成果を期待するものである。 昨年度多くの退職者があつた。文学部長 遠藤智恵子教授、社会福祉学部では、学部長 花村春樹教授、羽田新教授、千葉智正教授、飯田進教授の四名である。特に社会福祉学部を退職された先生方は、新学部開設に一方ならぬ苦勞を頂いたことについて心から感謝するとともに、今後とも健勝でご活躍されることを祈念申し上げますものである。 就職状況は、両学部合わせて二百十六名の卒業生のうち八十三・一%が内定し、厳しい就職戦線にあつて大いに健闘した。社会福祉学部出身者の就職は内定者の七十六%が社会福祉関係施設等であり、地理的には北海道、青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県、福島県、東京都に及んでいる。

卒業生が全国に広がり、本学で修得した高度な知識・技能を実践に生かして社会貢献に努めていただくことを願うものである。 社会福祉学部第一回卒業式の直前平成十五年一月二十六日、社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験が行われた。社会福祉士試験は第十五回目、三万三千四百五十二人が受験し二十九・八%の九千八百人が合格した。本学からは二十二名が合格した。また精神保健福祉士については第五回目で、九千三十九人が受験し六十二・七%の五千六百七十人が合格した。本学からは十二人が合格し、社会福祉士とダブル合格が六人もおり上々の結果といえよう。新年度も特別の勉強会を企画し、徹底した受験対策を講じ合格率の向上に学部一体となって取り組むことになっている。 弘前学院大学大学院社会福祉研究科は、社会福祉学部完成年度である平成十四年度に連続し、計画どおりに教員組織・カリキュラム・施設設備等を完備することができ、平成十四年十二月十九日に文部科学省から認可を受けた。研究科は、社会福祉及び関係領域に関するより高度な専門知識と識見及びその技能の修得を目指すとともに、その分野における指導的・中核的役割を担う高度専門職業人を養成しようとするものである。今年四月には、社会人九名、学部卒

業者五名の計十四名が合格入学し、教育活動は順調に推移している。 今後の経営指針 今日私学のおかれている環境は、少子化による十八歳人口が、平成二十一年までに全国で二十五万人減少し、大学定員を十八歳人口が下回ることに大学経営にとって厳しい状況が予想される。また国立大学独立行政法人化が平成十六年から確実に実行され、これらをも巻き込んだ大競争時代が現出することになる。かたて加えて、景気の低迷が続く経済活動に消極的風潮が蔓延している。また、NPO・株式会社等の学校経営参入が取りざたされていることも大きな問題であり、看過出来ないものがある。 以上のごとき厳しい状況の中にあつて、キリスト教に基づき弘前学院大学の歴史と伝統を守り、地域における高等教育機関として使命を継続的に果たすことが求められている。この使命を自覚するとき、「革新と創造の精神」を持って、時代の変化を的確に把握し、それに柔軟に対応し、組織慣習・方法などを変えて新しくすることに、その時代にふさわしい体制を創造し続けなければならぬ。また、本学は前理事長 故田澤吉郎先生が標榜された「本物の教育の提供」が重要である。これらの精神のもと、キリスト教行事等への積極的参加、教育研究の質の向上、学生に明確な付加価値をつける努力、積極的な学生募集活動の展開、就職指導の徹底と率の向上、大学拡充対策の策定と実行、大学組織運営の改革と円滑化、就業規則の遵守、施設設備の維持改善等々を着実に実行することが求められる。これらを、

教職員一丸となって推進することが大切である。 平成十五年は、文学部・社会福祉学部・大学院合計二百八名が入学し、スタートを切った。大学の人事は文学部長に 畠山篤教授、社会福祉学部長に 前田敏雄教授が新しく就任された。ご両人も優れた識見と豊富な経験を持ち本学発展のために学部経営責任者として大いに働きたいと確信している。また、教員異動では文学部 鎌田学講師が助教授に、社会福祉学部は大野拓哉助教授・田中宗利助教授がそれぞれ教授に、北村繁講師・西東克介講師・志村健一講師・松本郁代講師がそれぞれ助教授に昇格された。 大学拡充計画は、文学部研究科修士課程開設、社会福祉学部福祉心理学増設、大学院社会福祉研究科博士課程開設を提示している。計画実行のために、拡充委員会が委嘱され準備体制は整った。これから拡充計画の事務室は二号館一階に設置され資料収集が始まっている。各位のご理解ご協力を願う次第である。

教職員一丸となって推進することが大切である。 平成十五年は、文学部・社会福祉学部・大学院合計二百八名が入学し、スタートを切った。大学の人事は文学部長に 畠山篤教授、社会福祉学部長に 前田敏雄教授が新しく就任された。ご両人も優れた識見と豊富な経験を持ち本学発展のために学部経営責任者として大いに働きたいと確信している。また、教員異動では文学部 鎌田学講師が助教授に、社会福祉学部は大野拓哉助教授・田中宗利助教授がそれぞれ教授に、北村繁講師・西東克介講師・志村健一講師・松本郁代講師がそれぞれ助教授に昇格された。 大学拡充計画は、文学部研究科修士課程開設、社会福祉学部福祉心理学増設、大学院社会福祉研究科博士課程開設を提示している。計画実行のために、拡充委員会が委嘱され準備体制は整った。これから拡充計画の事務室は二号館一階に設置され資料収集が始まっている。各位のご理解ご協力を願う次第である。

ことばの力



文学部長 畠山 篤 本学文学部は英語・英文学科と日本語・日本文学科の二学科から成っている。すなわち「ことば」とその背後にある「こころ」こそが本学部の核である。

新任のご挨拶



社会福祉学部長 前田 敏雄 二〇〇三年四月一日、弘前学院大学大学院社会福祉研究科教授として着任し、社会福祉学部長と社会福祉教育研究所長とを兼務することになりました。

新しい大学院のご紹介



大学院社会福祉学 研究科長 斎藤 繁 宿願が叶い、新生の大学院社会福祉学研究科が、この四月一日より発足致しました。これひとえに皆さまのお力添えのたまものと、心から感謝とお礼を申し上げます。 教員構成は、専任教授八名と非常勤講師五名です。院生は学部からの進学生五名と社

ある。「ことば」には、人間の思想や生き方、民族の歴史や社会を土台にした思考法、すなわち「こころ」が刻み込まれている。したがって、英語と日本語の能力を高め、論理構成がしっかりし、物事をとらえる力を高めることで、社会で十分に通用することになる。 また、文学は人間の生き方（こころ）を「ことば」にした芸術である。したがって、文学の研究は「ことば」をとおして人間の生き方（こころ）を探究する学問である。 人間にとって最も大切なものは「こころ」である。そしてこの「こころ」は「ことば」として表れる。豊かな「こころ」と「ことば」を持つて有意義な人生を送るためには、どうしたらよいかを、一緒に学びたいものである。 このような使命を持つて本学部の発展のために、大いに奉仕したい。

私は、明治学院大学でソーシャルワークを学び、福祉学への興味を開かれて、同大学修士課程と博士課程を修了しました。これは、全国で最初に開設された福祉学の大学院でその第一期生でした。 その後、愛知教育大学などでソーシャルワークを研究したり教授してまいりました。愛知教育大学からは、今春、名誉教授の称号を授けられました。 弘前学院大学では、二〇〇三年に第一回の社会福祉学部の卒業生を世に送り出し、その間に九名、うち男性五名、女性四名となっております。すでに、図書館には最新の図書・文献が備え付けられ、院生の研究室は本館4階の一角に位置し、キャンパスはもちろん、西に岩木山が一望に見渡せる好位置にあります。ちよつとした軽井沢気分にはたれそうです。デスクには最新のコンピュータが設備され、壁面にはすばらしい油彩画が飾られて、ゆつたりした空間がひろがっています。これから院生のみなさんはリラックスした気分での研究にうちこめ、また、論文作成などに専念できそうです。 わたくしは、発足早々に研

究科長という重責を仰せつかりました。諸先生、職員のみなさんご教示をいただきながら、いまだ東日本に数少ない社会福祉学系大学院の雄たらんと、ひたすらに念願しているところです。 何卒今後ともあたたいご支援の程を御願致します。



附属図書館内大学院閲覧室

# 二〇〇四年度の入試について

入試センター長 對馬 進一

年々少子化が進み、十八才人口が減少続けている状況の下で、大学入試制度も大きく変革してきています。特に、大学入試センター試験利用入試が全国の私立大学にも広がり、私立大学の七十四パーセント以上の大学が導入しており、本学の社会福祉学部でも今年度より従来の試験 期入試を大学入試センター試験利用入試に振り替えて実施することになりました。

また、昨年度開設された大学院社会福祉学研究所人間福祉専攻修士課程では、今年度から前期・後期の入試に変更になります。

文学部は、前年度と同様の入試形態で実施されます。

## 文学部の募集定員

- 英語・英米文学科  
日本語・日本文学
- 速推薦入試各科目十五名  
一 推薦入試  
二 一般推薦：全体の評定平均値三・三以上の人が対象です。  
三 特定教科推薦：両学科共に全体の評定平均値三・三未満でも英語・英米文学科は英語の、日本語・日本文学科は国語の評定平均値がそれぞれ四・二以上の人が対象です。  
四 課外活動推薦：全体の評定平均値三・三未満でも課外活動で特別の能力と実績を示した個性豊かな人が対象です。
- 資格活用推薦：両学科共に全体の評定平均値三・三以上で英検準二級以上、TOEFL

社会福祉学部の募集定員  
速推薦入試(三十名)  
一 推薦入試  
二 一般推薦：全体の評定平均値三・五以上の者で書類審査面接、小論文が課せられています。浪可で、専願制です。

二 試験 期  
英語・英米文学科は、国語「現代文のみ」と英語「リーディング」、日本語「日本文学」は、国語「漢文を含まず」と英語「リーディング」が課せられています。試験は、それぞれ九〇分、一〇〇分で二科目合計二〇〇点満点です。

三 試験 期  
両学科共に小論文が課せられています。初めに講義五〇分以内を受けた後、それに関連した設問について論述(五〇分)します。

四 A〇入試  
レポートと面接が課せられています。レポートは、前期が模擬講義を受け、後期が課題図書を読んでレポートを作成します。

特に本学への入学を強く望む者だけがエントリーできる入試制度です。一般入試で入学した学生より積極的に勉学に取り組みが多く、本学でも受験者が増える傾向にあり、今後期待を寄せています。

五 編入入試  
英語・英米文学科は英語の小論文、日本語・日本文学科は小論文が課せられています。

受けた後、それに関連した設問について論述(六〇分)します。

四 編入入試  
小論文と面接が課せられています。小論文は、資料や文献が与えられて、それに関連した設問について論述(六〇分)します。

大学院社会福祉学研究所  
人間福祉専攻修士課程  
新設された研究科は、社会福祉および関係領域に関するより高度な専門的知識と実践的、指導的役割を担う高度専門職業人の養成と社会福祉の研究・教育を推進する役割を担う社会福祉学研究者、教育者の養成を担っています。

速前期試験の募集定員  
一般入試(五名)  
社会人入試(二名)  
後期試験の募集定員  
一般入試(二名)  
社会人入試(一名)  
前・後期試験

一 一般入試：論文記述(専門科目)・外国語および面接が課せられています。なお、外国語は「英語」とし、辞書持ち込み可ですが、電子辞書の持ち込みは不可となっています。

二 社会人入試：論文記述(専門科目)および面接が課せられています。

以上のように二〇〇四年度の入試形態について紹介致しましたが、詳しい入試日程等については募集要項に掲載されており、ご参照ください。なお、募集要項は、只今無料で配付しておりますので、気軽に入試センターにお申し付けください。

# 父母と教職員定例総会



通常総会を終えて  
父母と教職員の会長  
成田 専蔵

リンゴの花が咲き誇る5月の末、弘前学院大学校内において、父母と教職員の会の総会が開催されました。

昨年、副会長から会長に新任された私はいささかの緊張感を持って総会に臨みましたが、事務局の手際よい進行と先生方の貴重なご意見、また参加された父母の方々の大学に寄せられた信頼から忌憚のない活発な質問なども出され、実りある総会になったものと思います。

中でも、矢島浩学先生からは他大学の就職率のデータなどから全国的に学生の卒業後の就職の厳しさも報告され、当大学も一層の努力を惜しまないとの力強いお話もありました。

「父母と教職員の会」の今年度の活動も、地域別父母懇親会など学生のよりよい教育環境を築くべく発展的な活動が予定されています。

昨年度の地域別懇談会の出席者数は教職員を除いて総計で129名でした。今年度はそれを上回る参加者になる事を切に願っております。

ご父母の皆様には今後とも「会」へのご理解とご指導をお願い申し上げますと共に、本会の目的であります学生の幸福とキリスト教主義による人格教育の完成をめざす弘前学院大学の教育理念に賛同し、共に協力しあいましょう。

授け選出されました。

第一号議案  
一〇〇二(平成十四)年度活動報告及び一〇〇一(平成十三年)年度収支決算報告の件

第二号議案  
一〇〇三(平成十五年)年度活動計画(案)及び一〇〇三(平成十五年)年度収支予算(案)の件

役員改選の件

会長 成田 専蔵  
副会長 安田 勇治  
監事 中澤 實郎  
佐々木正晴

授け選出されました。

第一号議案  
一〇〇二(平成十四)年度活動報告及び一〇〇一(平成十三年)年度収支決算報告の件

第二号議案  
一〇〇三(平成十五年)年度活動計画(案)及び一〇〇三(平成十五年)年度収支予算(案)の件

役員改選の件

会長 成田 専蔵  
副会長 安田 勇治  
監事 中澤 實郎  
佐々木正晴

## 2003(平成15)年度弘前学院大学父母と教職員の会収支決算書

(期間:平成15年4月1日~平成16年3月31日) (単位:円)

| 収入の部   |           | 支出の部      |           |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 項目     | 前年度予算額    | 前年度決算額    | 今年度予算額    |
| 前年度繰越金 | 1,649,437 | 1,649,437 | 3,258,508 |
| 入会金    | 585,000   | 588,000   | 591,000   |
| 会費     | 6,134,400 | 6,111,600 | 5,983,200 |
| 雑収入    | 1,163     | 73        | 500       |
| 合計     | 8,370,000 | 8,349,110 | 9,833,208 |

| 項目           | 前年度予算額    | 前年度決算額    | 今年度予算額    |
|--------------|-----------|-----------|-----------|
| 運営費          | 650,000   | 209,092   | 410,000   |
| 1 事務費        | 150,000   | 320,092   | 50,000    |
| 2 通信費        | 200,000   | 90,000    | 200,000   |
| 3 旅費交通費      | 100,000   | 9,000     | 50,000    |
| 4 会議費        | 100,000   | 7,000     | 30,000    |
| 5 慶弔費        | 100,000   | 71,000    | 80,000    |
| 6 広報費        | 100,000   | 86,100    | 100,000   |
| 7 父母懇談会費     | 600,000   | 511,477   | 700,000   |
| 8 新旧役員親睦会費   | 150,000   | 0         | 150,000   |
| 活動協力費        | 5,700,000 | 3,728,449 | 6,100,000 |
| 9 父母・教職員研修会費 | 500,000   | 0         | 500,000   |
| 10 教員研修補助費   | 150,000   | 150,000   | 150,000   |
| 11 職員研修補助費   | 300,000   | 0         | 300,000   |
| 12 育英費補助費    | 200,000   | 200,000   | 200,000   |
| 13 宗教部補助費    | 450,000   | 347,901   | 450,000   |
| 14 学生課補助費    | 100,000   | 100,000   | 100,000   |
| 15 学生会補助費    | 400,000   | 0         | 400,000   |
| 16 就職開拓補助費   | 1,400,000 | 1,272,144 | 1,400,000 |
| 17 図書補助費     | 800,000   | 800,000   | 800,000   |
| 18 学生募集活動補助費 | 600,000   | 594,244   | 600,000   |
| 19 研究所補助費    | 400,000   | 200,000   | 400,000   |
| 20 国際交流活動補助費 | 400,000   | 64,160    | 400,000   |
| 特別補助費        | 1,170,000 | 555,484   | 2,523,208 |
| 21 特別スポーツ補助費 | 100,000   | 0         | 100,000   |
| 22 学生会・大会補助費 | 200,000   | 0         | 400,000   |
| 23 設備補助費     | 500,000   | 555,484   | 1,000,000 |
| 24 予備費       | 370,000   | 0         | 1,023,208 |
| 合計           | 8,370,000 | 5,090,602 | 9,833,208 |

## 2002(平成14)年度弘前学院大学父母と教職員の会収支決算書

(期間:平成14年4月1日~平成15年3月31日) (単位:円)

| 収入の部   |           | 支出の部      |         |
|--------|-----------|-----------|---------|
| 項目     | 予算額       | 決算額       | 差額      |
| 前年度繰越金 | 1,649,437 | 1,649,437 | 0       |
| 入会金    | 585,000   | 588,000   | 3,000   |
| 会費     | 6,134,400 | 6,111,600 | △22,800 |
| 雑収入    | 1,163     | 73        | △1,090  |
| 合計     | 8,370,000 | 8,349,110 | △20,890 |

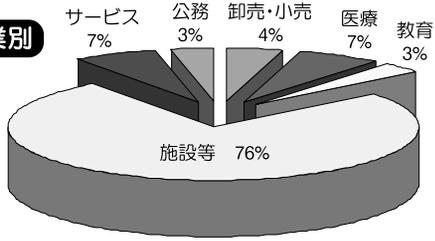
| 項目           | 予算額       | 決算額       | 差額        |
|--------------|-----------|-----------|-----------|
| 運営費          | 650,000   | 209,092   | 440,908   |
| 1 事務費        | 150,000   | 32,092    | 117,908   |
| 2 通信費        | 200,000   | 90,000    | 110,000   |
| 3 旅費交通費      | 100,000   | 9,000     | 91,000    |
| 4 会議費        | 100,000   | 7,000     | 93,000    |
| 5 慶弔費        | 100,000   | 71,000    | 29,000    |
| 6 広報費        | 100,000   | 86,100    | 13,900    |
| 7 父母懇談会費     | 600,000   | 511,477   | 88,523    |
| 8 新旧役員親睦会費   | 150,000   | 0         | 150,000   |
| 活動協力費        | 5,700,000 | 3,728,449 | 1,971,551 |
| 9 父母・教職員研修会費 | 500,000   | 0         | 500,000   |
| 10 教員研修補助費   | 150,000   | 150,000   | 0         |
| 11 職員研修補助費   | 300,000   | 0         | 300,000   |
| 12 育英費補助費    | 200,000   | 200,000   | 0         |
| 13 宗教部補助費    | 450,000   | 347,901   | 102,099   |
| 14 学生課補助費    | 100,000   | 100,000   | 0         |
| 15 学生会補助費    | 400,000   | 0         | 400,000   |
| 16 就職開拓補助費   | 1,400,000 | 1,272,144 | 127,856   |
| 17 図書補助費     | 800,000   | 800,000   | 0         |
| 18 学生募集活動補助費 | 600,000   | 594,244   | 5,756     |
| 19 研究所補助費    | 400,000   | 200,000   | 200,000   |
| 20 国際交流活動補助費 | 400,000   | 64,160    | 335,840   |
| 特別補助費        | 1,170,000 | 555,484   | 614,516   |
| 21 特別スポーツ補助費 | 100,000   | 0         | 100,000   |
| 22 学生会・大会補助費 | 200,000   | 0         | 200,000   |
| 23 設備補助費     | 500,000   | 555,484   | △55,484   |
| 24 予備費       | 370,000   | 0         | 370,000   |
| 合計           | 8,370,000 | 5,090,602 | 3,279,398 |

(収入合計額)8,349,110-(支出合計額)5,090,602=(残額)3,258,508(次年度繰越金)  
上記監査の結果収支異常ないことを認めます。  
平成15年5月26日

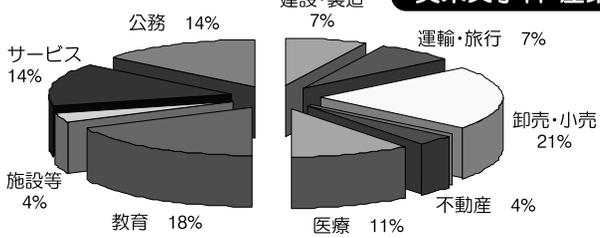
### 2002年度就職状況(2003/6/6現在)

|           | 社会福祉学部<br>社会福祉学科 | 文学部<br>合計 |
|-----------|------------------|-----------|
| 卒業生数      | 118              | 98        |
| 有効求職者数    | 104              | 68        |
| 内定者数      | 91               | 52        |
| 内定率       | 87.5%            | 76.5%     |
| 進学・留学希望者  | 7                | 10        |
| 家事従事者     | 1                | 4         |
| 家業従事者     | 1                | 1         |
| 進路考慮中     | 0                | 0         |
| アルバイト等    | 1                | 3         |
| 教員・公務員希望者 | 1                | 11        |
| 求職票未提出者数  | 3                | 2         |

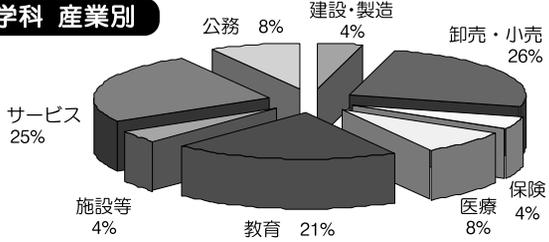
#### 社会福祉学科 産業別



#### 英米文学科 産業別



#### 日本文学科 産業別



厚生労働省の調査によれば、企業が学生に求めているものは、やや拡大傾向にあるものの依然として厳しい環境にある。今年度卒の学生の採用見込は、やや拡大傾向にあるものの依然として厳しい環境にある。さてこのような厳しい就職環境のもと、本学の学生の就職率は、文学部では昨年をやや下回ったものの、初めての卒業生を送り出した社会福祉学部では順調な滑り出しを見た。

今年度卒の学生の採用見込は、やや拡大傾向にあるものの依然として厳しい環境にある。さてこのような厳しい就職環境のもと、本学の学生の就職率は、文学部では昨年をやや下回ったものの、初めての卒業生を送り出した社会福祉学部では順調な滑り出しを見た。就職課では、就職を希望する学生が全員就職できることを目標に様々な就職指導、支援行事、就職に関する相談業務を行っています。気軽に就職課を利用してください。

### 就職状況

就職課長 福井 修



二〇〇三年三月卒業生の採用状況は、企業の業績悪化による影響で全体的に抑制傾向が強まり、三年振りに減少となった。採用する人材に求める企業のスタンスも、「量より質」重視の厳しい方針が鮮明になっている。

### 主な就職先

#### 文学部

|         |  |
|---------|--|
| 建設・製造   | 三菱マテリアル資源開発(株)、東芝メディア(株)   |
| 運輸・旅行   | H-I-S、日本通運青森支店   |
| 卸・小売    | 東北化学薬品(株)、マックスバリュートーキョウ、(株)ノエビア、小山内バッテリー社、青森リコー、大塚製靴(株)、(株)ホンダセンターナリコー、(株)マエダ、(株)みまん、(株)青森トヨボット、(株)紅屋商事(株) |
| 保険      | 朝日生命保険   |
| 不動産     | (株)東日本不動産  |
| 医療      | あべ歯科医院、副島胃腸科内科、中村歯科、波多野歯科、弘前薬剤師薬局  |
| 教育      | 六戸中学校、とわの森三愛高等学校、弘前学院大学、比内町立扇田小学校、六ヶ所村立治中学校、甲田中学校  |
| 施設等     | 弘前豊徳会、養護老人ホーム美山園   |
| その他サービス | ホテルユニバース、弘前公益社、青森県スポーツ振興事業団、湯の川プリンスホテル渚亭、ソフトキャンパス、弘前市農業協同組合、鳴沢ゴルフ倶楽部                                       |
| 公務      | 常盤村役場、青森県庁文化財保護課、青森県自然保護センター、青森県理蔵文化財調査センター、五所川原市役所臨時、北海道静内町役場臨時   |
| 進学      | 弘前学院大学大学院、ニチイ学館医療事務、青森中央学院短期大学、東京アカデミー   |

#### 社会福祉学部

|      |   |
|------|---|
| 卸・小売 | (株)ヤマイシ、第一化学(株)、ハリカ   |
| サービス | アサヒクリーン(株)、弘前公益社、青森県総合健康センター、実践倫理宏正会、マルサン商事   |
| 医療   | 仁慈会東台病院、博文会、弘前愛成会病院(2)、黒石あけぼの病院、秋田回生会病院   |
| 福祉   | グループホームSAKURA、ラ・プリマベラ、きたみ学園・川東学園、りんどう苑、仙知会、鶴豊会(4)、花萌の里(2)、保健施設とわだ、保健施設なみおか(2)、金木町精神障害者施設、たかのす福祉公社、山形県立朝日学園、(株)介護サポート、堀川愛生園(2)、カナン(株)、ありのまま舎、宮城福祉会、桐栄会(5)、光陽会デイサービスセンターあつふる、弘前豊徳会(9)、七峰会(3)、新庄かつろく会、函館厚生院(2)、緑風会、芙蓉会、弘前草石会、あそか会、有愛会(3)、社会復帰施設友生(2)、老人ホームなのはな苑、老人ホームみちのく荘、老人ホームみちのく荘、老人ホーム恵光園、老人ホーム清風荘、羊ヶ丘養護園、練馬福祉園、みちのく青海荘、黒石市老人福祉センター、サンタハウス弘前、松館養護園、七瀬恩園、杏林会 |
| 教育   | 弘前第一養護学校、秋田市立飯島小学校、盛岡高等養護学校   |
| 公務   | 海上自衛隊、五所川原保健所、青森県庁企画振興部統計情報課  |
| 進学   | 弘前学院大学大学院、留学  |



6/14(土)学友会主催スポーツ大会

この場においては、主に今年度の学友会予算に関して審議され、承認を得ました。

今年度の学友会の事業計画と、計画の中ですでに実施された行事についてこの場をお借りして報告させていただきます。まず、四月一日に私伊藤正志が執行委員長に就任したと同時に、副委員長以下数名の役員を伴い、二〇〇三年度学友会執行部が発足いたしました。執行部が発足してまず最初の行事は、五月二六日に行われた二〇〇三年度学友会通常総会でした。



学友会執行委員長 伊藤 正志

今年度は例年とどりの行事を行うので精一杯ですが、そんな中でも各行事において学友会全体を統括するものとして精一杯がんばってゆくつもりです。で、宜しくお願いいたします。

さて、これからの学友会関連の行事予定と致しましては、大きいところで十月二二・二三日の両日にわたって行われる学祭があるのですが、これに関しては学祭実行委員会を中心として学友会全体が一丸となって、前年度のものよりいい学祭にしていこうと取り組んでおります。

今年度はバスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、ドッチボールの五種目を男女混合という今まではなかった形式で行いました。大会当日はいつ雨が降ってもおかしくない天候であったものの、参加者の皆さんのおかげもあってか、崩れる事もなく、内容としては大盛況のまま、無事に終える事ができてほっとしています。

毎年、減少傾向にある学友会予算の審議とあり、多くの出席者の方の意見や質問が飛び交い、真に有意義な会議であったものと思います。

文学部一年生は五月九日朝の二コマ目の授業を済ませてから出発先ず、阿保学院長による開会礼拝の奨励で始まり、教員

「建学の精神の奨励で始まり、出村先生による、弘前学院の歩み、教員の自己紹介と先輩学生の話し、夜はグループ別懇談会で一日目は終わりました。二日目はレクリエーションと讃美歌練習、矢島学長の閉会礼拝をもって終了し、帰路につきました。

キリスト教は、「出会い」という言葉を重要な概念として扱っています。キリストの弟子たちは、それぞれ生活の場面でイエスと出会い、弟子となったのです。

リトリートは、出会いの場所であり、先ず、一生涯のかけがえのない友と出会うことがあります。次に、研究の手引きとなる教師とも出会い、学部の基礎であるキリスト教に出会うのです。

2003年度の主題と聖句  
主題「あなたがたは地の塩である」  
聖書「あなたがたは地の塩である。だが、塩の塩気がなくなれば、その塩は何によっても塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。」(マタイによる福音書5章3~6節)

文学部は、一月六日、秋のキリスト教教育週間特別礼拝の日に実施する予定です。

リトリートは、大学三年生においても、実施します。社会福祉学部は、六月一九日、創立記念礼拝の後、本間昭夫氏社会福祉法人愛児福祉センター(デイサービスセンター所長)を講師として、「心のフォーマット」というテーマで講演をしていただいた。

リトリートは、出会いの場所であり、先ず、一生涯のかけがえのない友と出会うことがあります。次に、研究の手引きとなる教師とも出会い、学部の基礎であるキリスト教に出会うのです。

| 2003年度行事日程 |                              |
|------------|------------------------------|
| 4月2日(水)    | 在校生オリエンテーション                 |
| 4月3日(木)    | 入学式                          |
| 4月4日(金)    | 新入生オリエンテーション                 |
| 4月5日(土)    | 社会福祉学部1年リトリート                |
| 4月7日(月)    | 前期開講                         |
| 4月10日(木)   | 入学礼拝                         |
| 4月14日(月)   | 履修登録                         |
| 4月16日(水)   | 履修登録確認                       |
| 4月21日(月)   | 健康診断                         |
| 4月22日(火)   | 健康診断                         |
| 5月9日(金)    | 文学部1年リトリート                   |
| 5月10日(土)   | 第1回就職ガイダンス(3年生対象)            |
| 5月24日(土)   | スポーツ大会                       |
| 6月14日(土)   | 創立記念礼拝・社会福祉学部3年リトリート         |
| 6月19日(木)   | 第2回就職ガイダンス(3年生対象)            |
| 7月10日(木)   | 第1回オープンキャンパス                 |
| 7月12日(土)   | 社会福祉学部夏季休業                   |
| 7月24日(木)   | ~9月6日(土)                     |
| 7月30日(水)   | 文学部前期試験終了                    |
| 7月31日(木)   | 文学部夏季休業~9月20日(土)             |
| 8月1日(金)    | 文学部補講~8月1日(金)                |
| 9月8日(月)    | 社会福祉学部前期試験                   |
| 9月13日(土)   | 文学部成績配布・履修登録追加修正             |
| 9月16日(火)   | ~17日(水)                      |
| 9月16日(火)   | 社会福祉学部後期開講(月の授業)             |
| 9月20日(土)   | 第2回オープンキャンパス                 |
| 9月22日(月)   | 文学部後期開講                      |
| 10月11日(土)  | 学祭準備(午後)                     |
| 10月12日(日)  | 学祭                           |
| 10月13日(月)  | ~13日(月)                      |
| 10月14日(火)  | 学祭後片付け(全日休講)                 |
| 10月25日(土)  | 第3回就職ガイダンス                   |
| 11月6日(木)   | 特別礼拝・文学部3年リトリート              |
| 12月18日(木)  | クリスマス礼拝 文学部卒業論文レポート提出~19日(金) |
| 12月24日(水)  | 冬季休業~1月17日(土)                |
| 1月14日(水)   | 文学部補講                        |
| 1月15日(木)   | ~15日(木)                      |
| 1月19日(月)   | 授業開始                         |
| 1月21日(水)   | 社会福祉学部後期試験~2月3日(火)           |
| 1月31日(土)   | 第4回就職ガイダンス                   |
| 2月3日(火)    | 内定報告会(3年生対象)                 |
| 2月17日(火)   | 文学部後期試験終了                    |
| 2月17日(火)   | 文学部成績発表 再試申込み及び再試~21日(土)     |
| 3月18日(木)   | 卒業礼拝・卒業式リハーサル                |
| 3月19日(金)   | 卒業式                          |

### 公開講座委員会の事業

公開講座委員会では、例年以下の事業をおこなっている。父開放講義

大学の講義のうち今年度は、教員の同意に基づき、地域住民に二十七の講義を開放している。地域社会への貢献の一つである。受講者は延べ二十四名、実人員九名である。受講者は講義を受けられるほか、図書館を学生同様に利用できる。

符高校生対象の公開講座（通称、出前講座）

公開講座開催の希望のある高校に、本学教員が出向き、講義を行っている。地域社会への貢献、および高校生への本学の宣伝という側面をもっている。現在、数校と交渉中である。

腐公開講座まつりへの参加

青森県総合社会教育センター

ター主催の公開講座まつりへ、例年一名の教員を送っている。今年度は十月に弘前で行われる会に参加を予定している。

このほか、社会人・PTA対象に公開講座を行うことを検討している。開催可能な講座の一部を例示する。

井上諭一「この十年間の青森県出身文学者の動向」

ナンシー関を中心とする「西東克介・地域住民が求めるべき教育長・教育委員会の在り方とは？」

大学の内側から大学教員・大学の在り方を考える、志村健一「スペシャルオリンピックス」

今村かほる「青森県のことば」

山田等「現代湯治考」

希望があれば対応したいと考えている。

(委員長 山田等)

### 地域文化の理解を深めて

地域総合文化研究所

今年の事業も、多くの人々が参加して、有意義であったと感じてくれるようなプログラムを考えている。

縄文人は何を祈ったのだろう。祈る行為、宗教形態はどのようなであったのか。解明されたら、祈りの本質が解るかもしれない。最近では弥生時代の年代設定で議論がある。時代の変化に伴い、私たちの地域にどのような文化があったのだろうか。学祭の日、一〇月二二日に「土偶と祈り」と題して、弘前大学の藤沼邦彦氏に講演をお願いしている。

それに先だって、九月十三日に「文化政策」について、小林真理氏（静岡文化芸術大学）を招き、地域の文化政策はいかにあるべきか、実践にあたっての根本的な理念を参会者と共に考える。来年の三月

には、正月行事について野本寛一氏（近畿大学）が講演する。正月には多様な行事があった。それらは、地域の伝統的な生活様式を理解する上で重要であり、これからの地域づくりのための具体的な資料を示すものとなる。

学内の研究者による「津軽の方言」

佐々木五三郎と育児院の創設」の研究会も予定している。これらは地域の研究者、参会者が共に地域の学問・研究を深める場とするためである。

昨年の九月に当研究所が刊行した「地域学」の創刊号は好評であり、三ヶ月で完売してしまった。今年も第一号を出版する予定である。

これらについてはその都度、チラシ、ポスター、新聞紙上等によって通知するので、参加してほしい。(所長 笹森建英)

### 文学部リトリートの希望を募って

文学部長 畠山 篤

五月九、十日に行われたリトリートで、大学当局への要望が出されました。この種の要望がリトリートで出されるのは、これで三年目になります。リトリートの会場で回答したことを除いて、以下お答えします。

受講生の多い一般英語のクラスを後期に増やす。

5コマ目に必修科目が集まっているとの指摘だが、次年度に改善する。

休講の知らせは5日ほど前に掲示しているが、教員の都合で当日に掲示することもある。

学内の時計が正しい時間を刻むようにした。

チャイムの音を高くした。

女子トイレの改善をした。

図書館のインターネットはいわゆるほど混んでいないし、もし混んでいても、L教室で対応できる。

法人と生協の契約により

生協に沸騰器を備え付けることができない。

女子の健康診断は既に女医がしている。

暖房の消去は5時15分になっている。なお、一旦暖房を消すと、防火対策もあり教室で点火できないようになっている。

泌駐車場、疲図書館の冷房、皮ラウンジの拡張、碑自転車置き場の屋根、秘ブスの設置などについては、検討中である。

本学が創設されて118年になります。その草創期、中期は教育環境が貧弱でしたが、逸材が輩出してあります。現在の大学も新学部と大学院を創設し、中興期にあたります。当局は教育環境の整備に努めますが、それと同時に学生諸君も勉学に努めて、中興期にふさわしい逸材となり、世に出てからも高い志を保ち、後輩のために寄付してもらいたい。

### 森田喜郎教授、博士号取得す

文学部日本語・日本文学科の森田喜郎教授（70歳）が、2002年（平成14）11月、東北大学から博士（文学）の学位を授与された。森田教授の博士論文のテーマは「上田秋成芸文の研究」である。森田教授は秋田県出身、法政大学大学院（博士課程）を終了し、秋田県立農業短大教授、高崎商科短大教授を歴任し、現在に至っている。氏の著書は多く、その代表的な著書は『上田秋成』（紀伊国屋書店）、『上田秋成の研究』（笠間書房）、『日本近世文学論』（和泉書院）、『上田秋成小説の研究』（和泉書院）、『日本文学における運命の展開』（新典社）、『近代文学における「運命」の展開』（和泉書院）、『文学にみられる「運命」の諸相』（勉誠社）、『上田秋成芸文の研究』（和泉書院）などである。森田教授の博士号取得は、文学部の大学院研究科開設に大きな弾みをつけるものと思われる。

### 新

### 任

### 紹

### 介



新任のご挨拶  
教授 野口 伐名

この四月に社会福祉学部にて赴任いたしました。弘前学院大学は、私が初めて米沢からこの弘前の地に生活を移した時、最初の二年半ほどお世話になりました。夜の情熱の街である西弘がなほ頃で、あちこちに田畑と自然が残っていました。もう三十年も前のことです。その時も会う人ごとに聞かれたのが、私の伐名と由来です。伐名は、いさあきと読みます。国民学校に入学した頃から、出席をとると、だいまよう、ばつめい、かいいいなどと呼ばれ、今も変わりはありません。姓の野口は、会津の野口英世の野口ではなく、茨城県は磯原の、野口雨情の方の野口です。名前の由来ですが、その頃は、生まれた子供の名前は、親戚一同が寄り集まって命名するという習慣がまだ残っていて、父に聞いても良くわかりません。調べて見ると、伐は、侵略の侵が密かに攻めて行くのに対して、旗を堂々と掲げて敵を攻めていくいさあ、名はあきらかかか意味で、今ならすぐに討死にする戦国時代の名前です。私が弘前の地で最初に教壇に立った、そして私にとっては恐らく最後になるであろうこの弘前学院大学にお世話になることができたのは何か不思議な縁を感じます。何卒宜しくお願いいたします。



ご挨拶  
教授 野坂 勉

改めて弘前学院大学の大学院創設に係わる設置委員として着任した事を、光栄に思っております。

申請要件たる学部の、それも完成年次に続けて大学院を開設するという、殆ど例のない事に挑む弘前学院へ惹かれるものが強くあった、これが率直なところですが。

そして、百二十年に及ぶミッションスクールとしての実績と獲得した信頼に裏付けられた自信が為せる業だと、感得しておる次第です。また認可要件として、位置すること弘前が大学院教育と研究活動の基盤を確保するとして、あるべき事を、確信させるものでもあります。青森生まれの小生としては、そうだろうとひとり納得し、身びいきをため込んでおるところであります。

なお生活学を提唱され、築かれた事で知られた今和次郎（一八八八―一九七三）先生は、当地の御出身です。在野精神旺盛な早稲田の理工学部教授であった先生は、ジャーナリズム関連の研究を支援されておられ、お宅に顔を出す事もできた。生活問題の前線に広がる社会福祉に目を開かせ、進路を照らしていただいた御縁を、今更ながらに思うばかりです。



新任のご挨拶  
助教授 大高 研道

今春より、弘前学院大学文学部でお世話になることとなりました。社会教育関連科目を担当致します。よろしくお願ひ申し上げます。

私は、五年間の英国北アイルランド留学を経て、昨年夏、帰国致しました。ご存知の通り北アイルランドは宗教紛争の激しい土地で、私の学業の基点であったデリー（ロンドンデリー）市は、紛争のきつかけとなった、血の日曜日事件（一九七二年）が起ころる等、国際的に「危険」地帯として名が知られています。アイルランドの自然の美しさ、人々の優しさをよく知っている私にとって、「危ない」イメージを強調することは本意ではないのですが、それにしても政治対立の道具に宗教が利用されることには深い憤りを感じたものでした。

本学は、建学の精神をキリスト教におき、「畏神愛人」の理念に基づいて設立されたこと聞いております。国内外で起こる諸問題・事件を聞くにつけ、忘れ去られた心的態度への恐れ做といふ心的態度の重要性をあらためて考えさせられます。この精神を教育の根本思想に据えている本学で教鞭をとることの意味を真摯に受け止め、研鑽を積んでいきたいと思ひます。新任で、実質社会人一年生です。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

### 人事紹介

平成十五年四月一日

退職

文学部 遠藤智恵子

社会福祉学部 花村 春樹

教授 千葉 智正

教授 飯田 進

教授 羽田 新

大学事務局 清水 宏文

就職課 藤田まゆみ

新任・転入

文学部 大高 研道

助教授

社会福祉学部 前田 敏雄

教授 野坂 勉

教授 野口 伐名

教授 横山 北斗

大学事務局 佐々木 力

総務課 (聖愛高等学校より転入)

就職課 福井 修

総務課図書館 石岡 大

学内異動

総務課 (学生課より) 下山 桂子

入試センター (総務課より) 下山 裕二

学生課

(学務課文学部事務より) 石岡 肇子

学務課文学部事務 (総務課より) 清野 光子

就職課 (総務課図書館より) 三浦 順子

